【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第２区分
【発行日】令和6年9月10日(2024.9.10)

【公開番号】特開2023-15640(P2023-15640A)
【公開日】令和5年2月1日(2023.2.1)
【年通号数】公開公報(特許)2023-020
【出願番号】特願2021-119548(P2021-119548)
【国際特許分類】
Ｇ１０Ｌ 13/033(2013.01)
【ＦＩ】
Ｇ１０Ｌ 13/033

【手続補正書】
【提出日】令和6年9月2日(2024.9.2)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
１以上のテキストの各々に対して、前記テキストの合成音声を作成するための１以上の話者情報を設定することができる第１の画面を表示する表示制御部と、
ユーザの操作に応じて、前記テキストに対して設定された１以上の話者情報のうちの１つの話者情報により、前記テキストの合成音声を作成する音声合成部と、
を有する音声合成システム。
【請求項２】
前記話者情報には、前記テキストを合成音声により発話する仮想的な話者を表す話者モデルと、前記話者の口調を表す口調モデルと、前記合成音声のパラメータと、の少なくとも１つが含まれる、請求項１に記載の音声合成システム。
【請求項３】
前記話者情報には、特定の単語、文、テキスト、音声をそれぞれ他の単語、文、テキスト、音声に置換するための辞書が更に含まれ、
前記辞書には、特定の単語又は用語の読み方を表す情報が含まれる、請求項２に記載の音声合成システム。
【請求項４】
前記表示制御部は、
前記話者情報を作成又は編集を行うための第２の画面を、前記第１の画面と相互に遷移可能に表示する、請求項１乃至３の何れか一項に記載の音声合成システム。
【請求項５】
１以上のテキストの各々に対して、前記テキストに含まれる所定の句ごとの合成音声を編集するため第３の画面を表示する表示制御部と、
ユーザの操作に応じて、前記テキストに対して設定された話者情報により、前記テキストの合成音声を作成する音声合成部と、
を有する音声合成システム。
【請求項６】
前記第３の画面では、
前記合成音声の編集として、所定の句ごとの音声の相対的な強弱の変更と、隣接する前記所定の句同士の結合とを少なくとも行うことができる、請求項５に記載の音声合成シス

テム。
【請求項７】
１以上のテキストの各々に対して、前記テキストに対する所定のタグを追加、削除、変更することで合成音声を編集するための第４の画面を表示する表示制御部と、
ユーザの操作に応じて、前記テキストに対して設定された話者情報により、前記テキストの合成音声を作成する音声合成部と、
を有する音声合成システム。
【請求項８】
前記第４の画面では、
前記合成音声の編集として、前記テキストに対する範囲の指定と前記範囲内のテキストの合成音声に対する強弱、大きさ、スピードの変更を含む編集を少なくとも行うことができる、請求項７に記載の音声合成システム。
【請求項９】
１以上のテキストの各々に対して、前記テキストの韻律を表すカーブを変更することで合成音声を編集するための第５の画面を表示する表示制御部と、
ユーザの操作に応じて、前記テキストに対して設定された話者情報により、前記テキストの合成音声を作成する音声合成部と、
を有する音声合成システム。
【請求項１０】
前記第５の画面では、
ユーザの操作に応じて、所定の第１の単位で前記カーブの変更、前記所定の第１の単位よりも短い所定の第２の単位で前記カーブの変更、前記所定の第２の単位よりも短い所定の第３の単位で前記カーブの変更、前記所定の第３の単位よりも短い所定の第４の単位で前記カーブの変更、前記所定の第４の単位よりも短い所定の第５の単位で前記カーブの変更、の少なくとも１つを行うことができる、請求項９に記載の音声合成システム。
【請求項１１】
１以上のテキストの各々に対して、前記テキストの合成音声を作成するための１以上の話者情報を設定することができる第１の画面を表示する表示制御手順と、
ユーザの操作に応じて、前記テキストに対して設定された１以上の話者情報のうちの１つの話者情報により、前記テキストの合成音声を作成する音声合成手順と、
をコンピュータが実行する音声合成方法。
【請求項１２】
コンピュータを、請求項１乃至１０の何れか一項に記載の音声合成システムとして機能させるプログラム。